

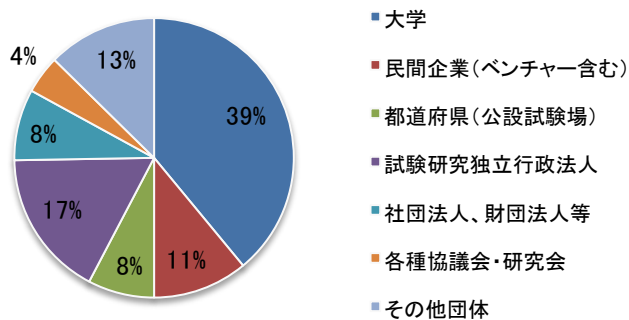
アグリビジネス創出フェア 2010 の実績について

開催日：平成 22 年 11 月 24 日(水)～26 日(金) 3日間

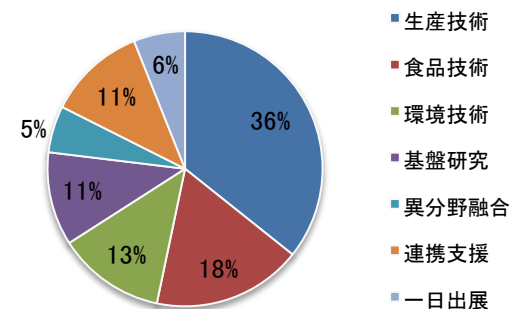
総参加者数：26,854 人

1 出展者の状況(182 機関が参加)

① 出展機関の種類



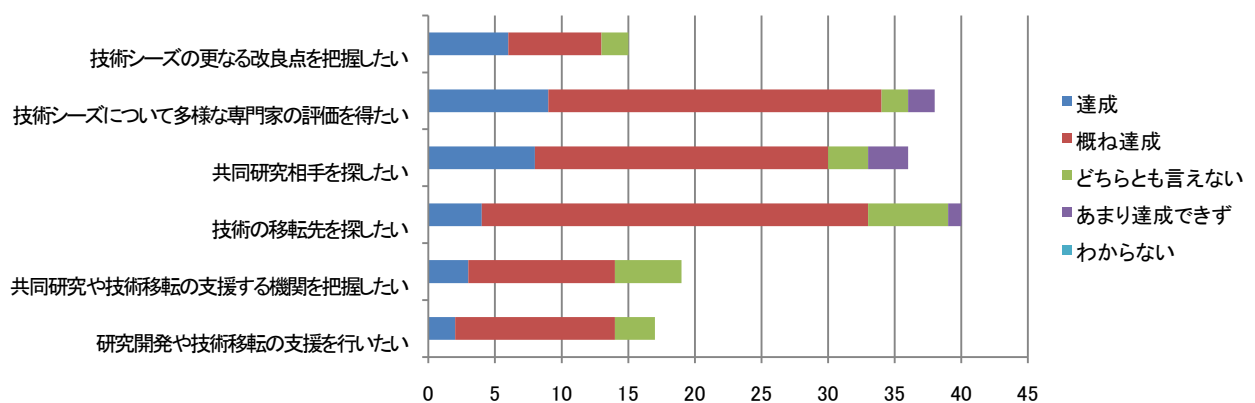
② 出展内容



出展機関は、大学が約4割を占め最も多いが、民間企業、都道府県の公設試験場、試験研究独立行政法人も各々1～2割を占め、多様な機関が参加した。

出展内容は、生産技術が約4割を占め、続いて食品や環境に関する技術の展示が各々1～2割を占めるなど、農林水産・食品産業関連の様々な技術が展示された。

③ 目的とその達成度

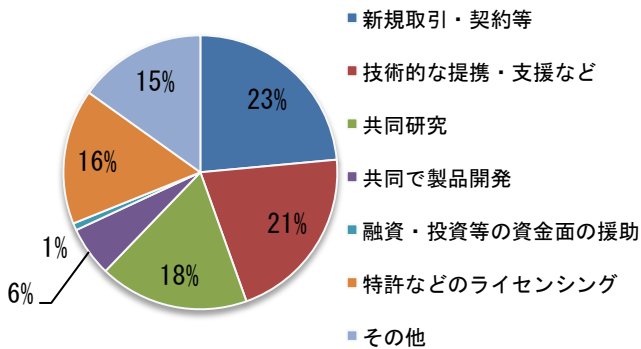


出展者は、「技術シーズの更なる改良点を把握したい」といった研究の初期段階の目的を持っている方から「技術の移転先を探したい」といった完成した技術を有する方まで多様であるが各々で約8割の出展者が、その目的は「達成」及び「概ね達成」としたと回答。

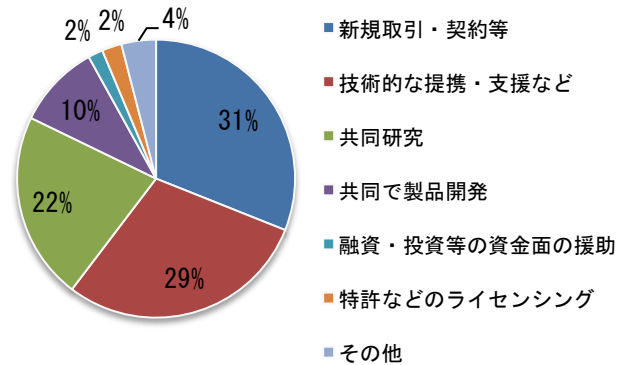
④ 新規連携実績

フェアへの出展を通じ連携が成立した案件数が 267 件、連携に向けて交渉継続中が 253 件、合計 520 件のマッチングが報告されている。(うち、コーディネーターが関与した件数は 64 件)(平成 23 年 3 月現在)

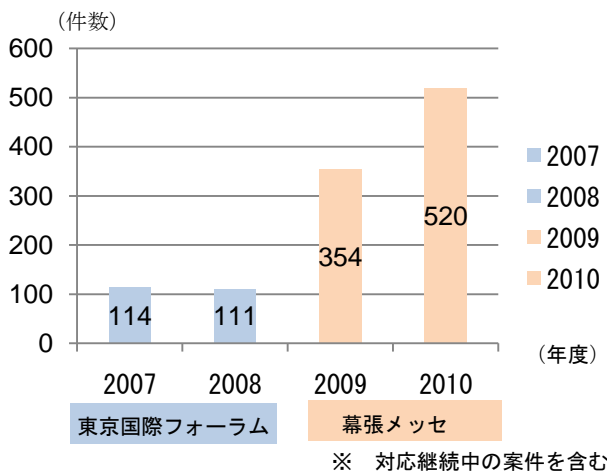
○2010 年度成立案件の詳細



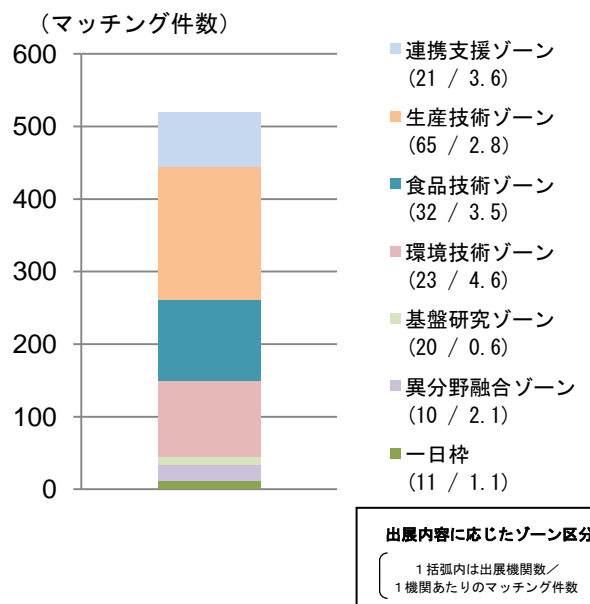
○2010 年度交渉継続案件の詳細



○フェアにおけるマッチング件数の推移



○2010 年度のマッチング件数の内訳

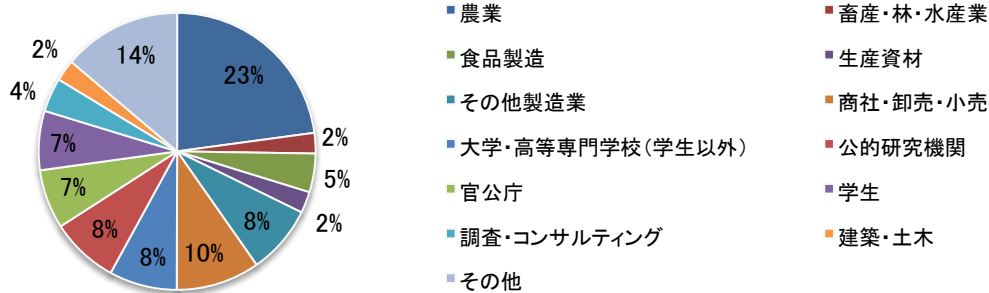


(具体的な連携事例)

- ・出展した新規の育種系統について、種苗会社が自らの圃場で栽培技術の検討を行うこととなり、契約(研究成果物の有償譲渡)を締結した。
- ・新型マイクロ水力発電技術を展示したところ、来場した機械メーカーが関心を示し、植物工場の電源としての活用を検証することとなった。
- ・青果物の比重計測技術を展示したところ、来場した機械メーカーと協力し、試作機の製作を行う話がまとまった。
- ・育成した新品種の栽培を希望する生産者に、実際の株を見せながら許諾に関する説明ができた。

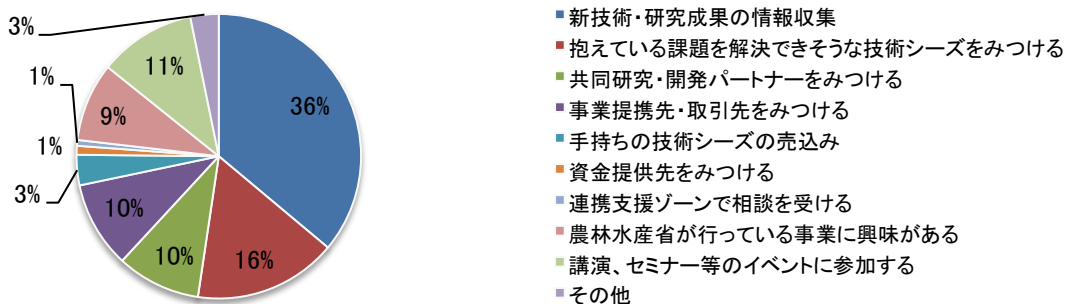
2 来場者の状況(24,311人)

① 業種別内訳



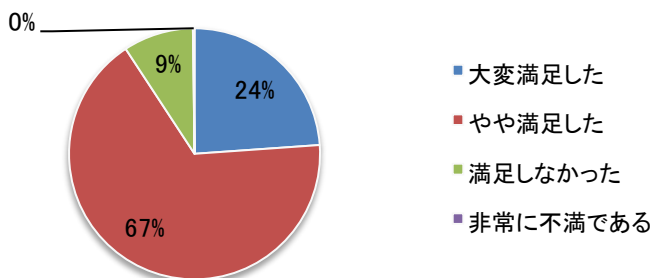
生産者(農業・畜産・林・水産業)が約3割、民間事業者(食品製造、生産資材、その他製造業、商社・卸売・小売)が約3割、研究者(大学・高等専門学校(学生以外)、公的研究機関)が約2割、その他(官公庁等)が残りの約2割を占め、研究者のみならず、様々な形で技術を利用する者が参加している。

② 来場の目的



新技術や研究成果の情報収集や、技術シーズの発見を目的として来場する者が半数以上を占めている。また、取引先の探求、講演・セミナー等への参加を目的に来場する者もあり、多様な来場者に技術をアピールする機会となっている。

③ フェアの展示内容について



「満足しなかった」の理由としては、ブース内での説明が難しく理解できなかった、配置の都合で展示物が見づらい等の意見があった。

3 出展者及び来場者からの主な御意見(アンケート結果)

出展者及び来場者を対象にしたアンケートを通じ、以下のような意見が寄せられた。

(出展者からの声)

- ・ブースで来訪者の対応に追われ、他の出展者やコーディネーターと接触する時間がなかった点で反省している
- ・他の出展者の出展方法等をじっくりと見学できなかったのが残念
- ・ブースへの来訪者に資料を配布することで、ある程度の広報効果があった
- ・来場者の構成を事前に想定し、対応する資料を準備しておくと思った
- ・出展者同士の交流はとても有意義だった
- ・試作品を出展したが、取得データも合わせて展示した方が、技術の優位性をアピールできると感じた
- ・来場者は、技術がビジネス化された際のイメージも求めているように感じた
- ・セミナールームでのプレゼンテーションは有益であった

(来場者からの声)

- ・各ブースの紹介をもう少し分かりやすくしてほしい
- ・静かに商談のできる場所があると良い
- ・展示に慣れているところとそうでないところの差が大きいのが気になった
- ・出展者はパネルの前で来場者を待つだけでなく、来場者に向けてもっと技術をアピールしてもよいと思った
- ・パネルだけよりも、実物を展示してあるブースがわかりやすかった
- ・配布する資料は、持ち帰りやすい形(袋の用意か枚数を厳選する等)にしてほしい
- ・混み合っているブースでは、展示の説明が十分に受けられなかったのが改善してほしい